

学校関係者評価報告書

令和6年度
(2024年度)

学校法人 国際審美学園
国際エステティック専門学校

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、国際エステティック専門学校令和5年度の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

令和 6年 6月 13日

学校長 高橋 みさ子

学校関係評価記載責任者
事務長 過能 龍介

■■■ I. 学校関係者評価の概要と実施状況 ■■■

1. 学校関係者評価の目的
2. 学校関係者評価の基本方針
3. 学校関係者評価委員会 出席者
4. 学校関係者評価委員会実施日時
5. 学校関係者評価方法

■■■ II. 学校関係者評価内容 ■■■

- 基準1 理念・目的
- 基準2 教育の内容
- 基準3 教育の実施体制
- 基準4 教育目標の達成度
- 基準5 学生支援
- 基準6 学生募集・受け入れ
- 基準7 社会的活動
- 基準8 管理運営・財務
- 基準9 改革・改善・情報提供

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、就職先、卒業生、在校生などの学校関係者が、国際エステティック専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員会出席者（委員定数4名：敬称略）

区分	氏名	所属
業界関係者	高木 栄子	フェイバリットプラス株式会社
就職先	東 秀憲	株式会社VSD化粧品
卒業生	安達 みく	Biolus
在校生	坂口 美希	在校生

4. 学校関係者評価委員会実施日時

- ①実施日時：令和6年6月1日（土） 10:00～11:30
- ②場 所：国際エステティック専門学校 5階 来賓室

5. 学校関係者評価方法

令和4年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

6. 評価結果の活用方法

各項目の評価結果を踏まえ、学校長の総指揮の元、事務長・教務主任が中心となって、原則、今年度から来年度中（前期、後期、1年間、2年間に区分）に改善方策を実施する。

※参考 自己点検・評価における評定

- A：極めて達成度が高い B：ほぼ達成している
C：若干の改善が必要 D：根本的な改善が必要

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準1 理念・目的

<p>1. 総括 教育理念、教育目的・目標について、教職員には定例ミーティング等の場で共有し、学生には入学時及び新学年オリエンテーション、学生便覧などを通して周知を図っている。</p> <p>2. 課題 教育理念に基づいて掲げている教育目的・目標を達成させるために教育内容の定期的な見直し、及び非常勤講師への浸透が必要である。</p> <p>3. 改善策及び改善の方向性 教育理念をふまえ、美容業界を目指す人材教育に適する内容となるように整備し、非常勤講師への浸透を図る。</p>		
中項目	評価	総括
【1-1】 教育理念、教育目的・目標、育成人物像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。	B	非常勤講師への周知徹底が課題。周知・徹底において改善を図る。
小項目	評価	注釈
【1-1-1】 学校創立時の建学の精神を明文化し、学校構成員に周知する機会を設け、社会に公表しているか。	C	学校構成員への周知徹底が課題。周知・徹底において改善を図る。
【1-1-2】 教育理念は明文化し、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本校の卒業生としてふさわしい資質として周知させているか。	B	入学時オリエンテーション、学生便覧、ホームルーム等で理解させている。今後、更に美容業界を目指す人材として周知・徹底を図る。
【1-1-3】 教育理念には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。教育理念は社会に公表しているか。	B	次年度の計画を立てる際に外部環境等に照らし合わせて見直しを検討し、確定したものは、教職員会議、非常勤講師会で共有を図っている。今後、更に非常勤講師への周知の改善を図る。
【1-1-4】 教育目的・目標、育成人物像は、教育理念から導き出されたものになっているか。またそれらを明文化し社会に公表しているか。	B	明文化し、周知している。社会状況の変化に対応した内容となるように、今後、見直しも行い社会に公表していく。
【1-1-5】 教育課程（カリキュラム表など）を明文化し、学生に提示し、学生は内容を理解しているか。またそれらを社会に公表しているか。	B	学生に対しては入学時及び新学年時に配布する学生便覧にて提示し、ホームページ（以下HP）上で公表している。
【学校関係者評価結果】 適正		
<p>【評価者コメント】 ①教育を受ける立場では、常勤・非常勤の別は関係ない為、教育理念、教育目的・目標の完全周知が必要である。また、発信するだけでなく、周知できたかの確認作業も実施してもらいたい。</p>		

基準2 教育の内容

<p>1. 総括 教育目的・目標の達成、育成人物像に向けたカリキュラム編成など教育内容の充実を図るために継続して取り組んでいる。過年度の課題を改善した取り組みも行っている。今後も組織的な取り組みとして可視化できるよう、更なる改善に努める。</p> <p>2. 課題 組織としての計画や取り組みを記録していく必要がある。</p>		
---	--	--

3. 改善策及び改善の方向性		
教育の内容の記録書式を整備し、カリキュラム、シラバスの作成、授業運営、評価、改善計画までが確認できる運営体制を目指す。教育理念、教育目的・目標について、教職員には定例ミーティング等の場で共有し、学生には入学時及び新学年オリエンテーション、学生便覧などを通して周知を図っている。		
中 項 目	評価	総 括
【2-1】 教育目的・目標の達成、育成人物像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。	B	教育目的・目標の達成、育成人物像に向けた学習到達スケジュールは共有されているが、カリキュラム・ポリシーをより詳細に明文化し、エビデンスとなる記録書等の共有・周知の改善を図る。
小 項 目	評価	注 釈
【2-1-1】 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）として、卒業認定のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するか等の基本的な方針を定めているか。	B	結果及び成果を高めるためにカリキュラムの見直しを図り、より詳細なディプロマ・ポリシーを明文化する。
【2-1-2】 育成人物像及びカリキュラムは、業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか。	B	カリキュラム編成会議等の議事録をHP等で公表していく必要がある。企業訪問時の面談報告書も教職員で共有する。
【2-1-3】 育成人物像に向けた修業年限分のカリキュラム及びシラバスを作成しているか。シラバスは事前に学生に配付しているか。	A	入学時及び新学年時に当該学年分を配付している。
【2-1-4】 カリキュラム作成に際し、複数の教員及び業界関係者などの外部関係者を入れて、カリキュラム改善のために意見を取り入れているか。	B	カリキュラムは複数の教員で作成しているが、改善のための外部関係者の意見を取り入れ、ヒアリング情報及び業界ニーズをフィードバックし、カリキュラムを更に充実させている。
【2-1-5】 シラバス及びコマシラバスを取りまとめて、整合性を図り、定期的に検証・見直しているか。	B	教職員定例ミーティング、カリキュラム編成会議等で検討し、整合性を図り、検証・見直しを行っていく。
中 項 目	評価	総 括
【2-2】 教育方法は適切に行なっているか。	B	授業目的、内容にあった授業方法を選択し、実施している。評価については、さらに客観性、厳格性を追求していく。
小 項 目	評価	注 釈
【2-2-1】 授業方法は適切に行なっているか。	B	計画に基づき適切な指導を行い、学生の満足度は高い。授業の進め方等、今後も改善を図っていく。
【2-2-2】 コマシラバスを作成し、授業の中で概略と到達点を学生に周知しているか。シラバス・コマシラバスに基づいて授業を展開しているか。	B	シラバスの学生への提示は適切に行っている。今後、教員及び非常勤講師がシラバス、コマシラバスに基づいて適切に授業展開していることを確認できる記録体制を強化する。
【2-2-3】 学習の評価は適切に行なっているか。	B	適切に行っているが、客観性、厳格性を高める必要がある。

中 項 目	評価	総 括
【2-3】 学習指導プロセスの改善及び教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。	C	学生評価結果に基づく改善指導において、組織的・計画的に今後、改善していく。
小 項 目	評価	注 釈
【2-3-1】 学生による授業評価を定期的に行なっているか。評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか。	C	授業評価は定期的に行い、改善を図っているが、改善計画及び進捗管理において改善の必要がある。
【2-3-2】 学生による授業評価以外で、授業改善のための取り組みを組織的、計画的に行なっているか。	C	授業内容については、教職員定例ミーティング、カリキュラム編成会議等で美容業界から収集した情報や非常勤講師会での意見を元に見直しを行なっている。授業改善のための取り組みについては、計画的に行う点を今後、改善していく。
【2-3-3】 教員の専門性や指導力等の維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか。	C	研修には参加し、能力向上を図っている。共有・検証・評価についても今後、改善に取り組んでいく。
中 項 目	評価	総 括
【2-4】 業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか。	B	業界ニーズに対応できるように、就職実績のあるエステティック企業、就職内定企業を中心にインターンシップ形式の実務実習を行っている。
小 項 目	評価	注 釈
【2-4-1】 企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）を行なっているか。	B	就職実績のあるエステティック企業、就職内定企業を中心に実務実習を行い、改善の余地はあるが、一定の成果をあげることができた。
【2-4-2】 キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。	C	「キャリア形成」という科目で授業を行い、キャリア発達を促している。ただし、教職員が「キャリア教育・キャリア発達」の定義を更に十分理解できるようにしていく必要がある。
【2-4-3】 リメディアル（導入前教育、補習）教育を行なっているか。	D	入学前教育は実施していないが、入学後の基礎学力向上ツールとして、eラーニングの導入を検討した。今後しっかりと計画をたてて実施していく。
【学校関係者評価結果】 適 正		
【評価者コメント】 ①インターンシップスタイルの「ワーキングスタディ制度」の実施において、就職実績のある企業等の協力もと、実際のサロンで実務実習が行われ、校内での実習では習得できない成果があったことは、安堵すると共に就職に向けて、非常に良い経験になって良かった。より高いスキルを身に付けた学生の実社会での活躍が楽しみである。 ②学生に検定、資格の取得目的を明確にする指導が必要だと思う。状況に応じて、学生との個別面談も必要だと思う。 ③非常勤講師の授業課目において、常勤教員による管理体制を、更に強化した方が、学校全体の底上げにつながると思う。		

基準 3 教育の実施体制

<p>1. 総括 教育の実施体制としては、法令を遵守し、必要な教員組織（常勤、非常勤）、施設等、教育環境は整備・活用は概ねできている。</p> <p>2. 課題 非常勤講師との情報交換としての授業報告書を確認する。</p> <p>3. 改善策及びは改善の方向性 講師会で年に1回、運営方針、授業運営についての全体共有をする機会を設けているが、日常の状況を共有するツールとしての授業報告書を更に活用するよう改善を図る。</p>		
中 項 目	評価	総 括
【3-1】 専修学校設置基準その他法令を遵守しているか。	A	法令を遵守している。
小 項 目	評価	注 釈
【3-1-1】 教員は法令が定めた教員要件を満たし、必要な人員を適切に配置しているか。	A	教員は法令に定められている要件に留意し、業界の専門性及び経験、必要な資格・教育に対する意欲等を持った者を採用し、適切に配置している。
【3-1-2】 校地・校舎・講義室・実習室等の面積は、設置基準その他の法令の基準を満たしているか。	A	校地・校舎等は専修学校設置基準、その他の法令基準を満たし、必要な付帯施設を備えている。
中 項 目	評価	総 括
【3-2】 教育の実施体制を整備しているか。	B	教育の実施体制の整備は概ねできているが、更なる教育の質の向上を目指し、改善を図っていく。
小 項 目	評価	注 釈
【3-2-1】 学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。	B	教員組織の整備は概ねできているが、更なる教育の質の向上を目指し、改善を図っていく。
【3-2-2】 非常勤講師と適切な協業及び情報交換を図っているか。	B	非常勤講師と適切な協業及び情報交換は概ねできているが、授業報告書を活用し、授業内容、学生の状況等、非常勤講師との適時情報交換を更に行なっていく。
中 項 目	評価	総 括
【3-3】 教育環境を整備・活用しているか。	B	教育環境は概ね整備・活用しているが、経年劣化に伴う環境の改善を図る必要がある。
小 項 目	評価	注 釈
【3-3-1】 実習で使用する学校設備機器、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。	B	学校設備機器、教育備品・教具等を整備し、管理体制は概ね整っているが、経年劣化に伴う破損・不具合等がある設備機器、備品・教具の改善を図る必要がある。
【3-3-2】 校外実習時の安全対策を立案・文書化し、十分な対策を取っているか。対象となる学生にはそれらを十分理解させよう実習に参加させているか。	A	校外実習時の安全対策は十分に行っている。特に校外実習においては、対象となる引率教員、学生及び受け入れ施設等に事前に周知徹底させている。
【3-3-3】 防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）を整備・点検しているか。	A	防災・防犯設備は定期的且つ適正に整備・点検している。

【3-3-4】 学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。	B	専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているが、学生の利用を更に高めるための改善を図っていく。
【3-3-5】 図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。	B	図書室はあり、教員や学生の利用はあるが、利用頻度を更に高めるために図書の充実を図っていく。
【学校関係者評価結果】 適 正		
【評価者コメント】 ①法令を遵守し、整えられた教育環境での実施体制は適正と思われる。		

基準 4 教育目標の達成度

<p>1. 総 括 教育目標は年度初めに設定・共有し、毎月の進捗管理を実施しており、実績や達成度についても共有・公表している。</p> <p>2. 課 題 ディプロマ・ポリシー（卒業認定基本方針）を整備し、改善策の有効性を検証していく。</p> <p>3. 改善策及び改善の方向性 教育目的・ディプロマ・ポリシーをより高水準にするための整備、及び結果を受けての改善策の有効性を検証できる体制を目指す。</p>		
中 項 目	評価	総 括
【4-1】 教育目標の達成度及び成果を評価・公表しているか。	B	教育目標に沿って、出席状況、資格・検定取得、就職内定、卒業率などの達成度・成果については、記録・検証を行い、公表している。更に教育効果を高めるための改善を図っていく。
小 項 目	評価	注 釈
【4-1-1】 ディプロマ・ポリシーとして、どのようなスキルを習得した者に卒業認定をするか、基本的な方針を定めているか。	B	基本的な方針は定めているが、更に社会に貢献できる人材輩出のために、より高水準なディプロマ・ポリシーを整備する。
【4-1-2】 教科の評価・成績に関して目標を設定し、共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録・検証したか。	B	各教科の目標を設定し、適切に評価を行い、結果について記録・検証している。更に教育効果を高めるために、非常勤講師との共有において改善していく。
【4-1-3】 本校の資格取得の最大目標である「INF A国際ライセンス」の合格率の目標を設定・共有し、結果を踏まえ、検証・改善をしているか。	B	目標を設定・共有している。結果を踏まえての検証・改善を更に図っていく。
【4-1-4】 資格・検定取得に関して目標を設定・共有し、結果について検証・公表をしているか。	B	目標の設定・共有、結果についての検証・公表はしているが、更に効果を高める改善を図る。
【4-1-5】 就職に関して目標を設定・共有しているか。また、就職活動を記録し、それをもとに結果の検証・公表をしているか。	A	目標の設定・共有、就職活動を記録し、結果についての検証・公表をしている。

【4-1-6】 卒業率に関して目標を設定・共有し、退学防止方策の検証、並びに退学者数を公表しているか。	B	目標の設定・共有、退学防止方策の検証をし、退学者数の公表はしているが、今後も退学防止方針に関して、改善を図っていく。
【学校関係者評価結果】 適 正		
【評価者コメント】		
①教育目標の達成度が、クラス運営報告書、教職員定例会議等で定期的を確認されており、目標達成に向けた取り組みが適正に行われていると思う。		

基準 5 学生支援

1. 総 括 在校生及び卒業生の支援体制は整備され、適切に運用されている。		
2. 課 題 学生との面談内容の記録の整備、卒業生のキャリアアップに向けたフォローをしていく。		
3. 改善策及び改善の方向性 学生との面談記録の徹底、卒業生のキャリアアップに向けたフォロー体制を検討する。 スクールカウンセラーを配置していないので、早期配置に向けて検討する。		
中 項 目	評価	総 括
【5-1】 学生支援体制を整備し、支援を組織的に行なっているか。	C	学生支援体制は整備され、支援を適切に行っているが、学生面談時の記録の徹底を図る。また、スクールカウンセラーの配置を検討する。
小 項 目	評価	注 釈
【5-1-1】 教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。	B	定期的に面談を行い、適切な支援を行っているが、特に問題がある場合の記録についての改善を図る。
【5-1-2】 保護者と計画的な相談や面談を行ない、説明責任を果たしているか。	B	計画的に三者面談を実施し、本人及び保護者に適切な説明及び指導を行っているが、面談に来られない保護者の対策を図っていく。
【5-1-3】 キャリアサポート関連の有資格者（キャリアカウンセラー等）を配置し、学生の就職指導を行なっているか。	A	CDA（キャリア・デベロップメント・アドバイザー）有資格者を1名配置し、適切な就職指導を行っている。
【5-1-4】 スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。	D	スクールカウンセラーを配置していないので、配置に向けて検討する。
【5-1-5】 ハラスメント防止に関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。	C	相談がある場合は、状況に応じて教務主任が対応しているという現状なので、相談窓口担当者の配置を検討する。
【5-1-6】 奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。	A	経済的支援については、募集要項に記載し、進学ガイダンス、オープンキャンパス等において説明し、対象者には支援を行っている。
【5-1-7】 社会人経験者、留学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。	C	社会人経験者、留学生、障がい者等を受け入れて、適宜、支援を行っている。

【5-1-8】 課外活動に対する支援を行なっているか。	—	現状、課外活動の希望がないため、行っていない。
中 項 目	評価	総 括
【5-2】 卒業生対象の支援を行なっているか。	B	卒業生に対して、就職定着及び就職紹介支援を行っている。今後は、卒業生のキャリアアップに向けての研修等の実施を検討していく。
小 項 目	評価	注 釈
【5-2-1】 卒業生の就業先へ定期的に訪問し、在籍状況を把握しているか。また、キャリア教育の成果を確認して、学校の教育活動に活用しているか。	B	卒業生の就職先へ定期的に訪問及び電話連絡をし、在籍状況の把握を行っている。また、離職を考えている卒業生の情報を得た場合は、来校させ、面談を行い、適切な指導を行っている。このような活動・情報を教職員で共有し、教育活動に活用している。
【5-2-2】 卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。	C	再就職活動を行っている卒業生から相談があった際は、就職紹介を行っている。卒業生対象の講習・研修は実施していないので、今後、検討していく。
【学校関係者評価結果】 適 正		
【評価者コメント】		
①面談記録体制に関して、面談の全ての内容を記録書にまとめる相当の作業量と思うので、記録書フォームの整備も併せて検討したらいいと思う。		
②就職して1ヶ月から半年程度の短いスパンで退職する人がなかなか減らないように感じる。美容系職種の職業理解が希薄な人がこの業界に入ってきているせいかもしれないが、国際の卒業生には1日でも長く仕事を続けていくような人材育成を期待するとともに、卒業生の再就職相談者にも適切なアドバイスをしてもらいたい。		

基準 6 学生募集・受け入れ

1. 総 括 学生募集活動は、適正に行われ、入学選考も公正且つ適切に実施している。		
2. 課 題 入学者が定員に達していない。		
3. 改善策及び改善の方向性 美容業界志望者に職種及び本校の魅力を伝えるツール、イベント等を更に改善していく。		
中 項 目	評価	総 括
【6-1】 学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正且つ適切に実施しているか。	B	適正な方法で募集活動を行っており、入学選考も公正且つ適切な体制で行っているが、入学者が定員に達していない。
小 項 目	評価	注 釈
【6-1-1】 アドミッションポリシー（学生の受け入れ方針）を定め文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。	A	学校案内パンフレット等に記載し、学校が求める資質、適性等を示しているが、原則、意欲がある者は全て受け入れる体制にある。
【6-1-2】 高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。	A	広報担当者1名及び事務長が、高等学校（九州・山口）を定期的に訪問し、進路指導担当者、3学年担任と情報交換、在校生状況報告、業界情報を伝えている。高校側から得た情報は、定例会議等で共有・検討を行っている。

【6-1-3】 学生募集活動において、就職実績、資格取得状況、卒業生の活躍等の教育成果を伝えているか。	A	学校案内パンフレット、HP等に最新の情報を掲載し、適宜更新を行い、伝えている。
【6-1-4】 学校案内等に育成人物像、目指す取得資格、就職先、習得できる知識及び技術等を明示しているか。	A	学校案内パンフレット、募集要項、その他の広報制作物に網羅して記載している。
【6-1-5】 募集要項等には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。	A	入学から卒業までに必要な学費を明確に記載し、項目ごとにわかりやすく明示し、適正な費用を徴収している。
【6-1-6】 募集要項等には入学者の選抜方法を明示し、選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。	A	募集要項に入学選抜方法を適切に明示し、入学選考も公正且つ適切に運用しており、更に実施方法や選考基準についても、定期的に検証を行っている。
【6-1-7】 適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	C	募集定員に関しては、適切に管理しているが、入学者が定員に達していないので、充足させるためのツールイベント等の検討を図っていく。
【学校関係者評価結果】 適 正		
【評価者コメント】		
①学校案内パンフレットのクオリティが、年々、良くなってきていると思うし「ワーキングスタディ制度（実務実習）」が適切に機能していくことで、入学者が増えることに期待したい。		
②職業観を養い、知識、技術を習得するだけでなく、マネジメントスキルを含め、即戦力を育てていくことができる学校が今まで以上に必要である。		

基準 7 社会的活動

<p>1. 総 括</p> <p>社会的活動を推奨し、介護福祉施設への美容ボランティア、地域行事への参加を行っているが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を自粛せざるを得なかった。来年度は規制緩和に伴い、状況を見極めつつ、地域社会に貢献するための計画的、組織的な取り組みを段階的に図る必要がある。</p> <p>2. 課 題</p> <p>地域に貢献できる活動において、計画的、組織的な取り組みの幅を広げていく。</p> <p>3. 改善策及び改善の方向性</p> <p>地域の清掃活動や地域住民の方々に向けての校内でのエステティック体験など、計画的、組織的な取り組みを検討していく。</p>		
中 項 目	評価	総 括
【7-1】 計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか。	B	社会的活動への取り組みは推進しているが、更に計画的、組織的な取り組みを段階的に検討していく。
小 項 目	評価	注 釈
【7-1-1】 学生に対し、計画に基づく社会的活動を推奨し、実施しているか。	—	社会的活動を推奨し、介護福祉施設への美容ボランティア、地域行事への参加をしているが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により活動を自粛。来年度は規制緩和に伴い、状況を見極めつつ、地域の清掃活動など学生が地域貢献できる事を検討していく。

【7-1-2】 学校は施設や教育資源を生かした地域住民が参加できる校内イベント等を実施しているか。	D	地域住民が参加できる校内イベントは、現在、実施していないので、エステティックのモデル体験等の公開イベントを検討していく。
【7-1-3】 企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。	—	高等学校内での職業理解のためのガイダンスに参加し、高校生の職業理解促進を行ったり、地域で開催される行事、行政機関からの各種啓発事業におけるボランティア募集があり、積極的に参加しているが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により活動を自粛。来年度は規制緩和に伴い、状況を見極めつつ、活動を実施していく。
【学校関係者評価結果】 適 正		
【評価者コメント】 ①今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により様々な社会的活動を自粛せざるを得なかったのは残念ではあるが、介護福祉施設への美容ボランティアは非常に良い取り組みだと思うので、今後も継続してしてもらいたい。 ②地域住民がエステティック、メイク、ネイル等のモデルや実技体験ができる校内イベントを、是非、実現させてほしい。		

基準 8 管理運営・財務

1. 総 括 学校の管理運営体制は、適切に行われており、財務運営も適切に行われている。また、新型コロナウイルス感染拡大以降、国から提示されている感染症防止対策ガイドラインに沿って、対策を行っている。		
2. 課 題 校務分掌の業務内容の周知、学生も参加した避難訓練の実施及び各教職員の予算管理についての把握を行う。		
3. 改善策及び改善の方向性 校務分掌の業務内容の周知を行い、学生も参加する避難訓練の実施を検討する。更に、予算管理においては、各教職員に費目ごとの予算の理解と運用方法の指導を行う。		
中 項 目	評価	総 括
【8-1】 学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか。	B	学校の管理・運営体制は確立され、規程通りに運営されている。新型コロナウイルス感染拡大以降、国から提示されている感染症防止対策ガイドラインに沿って、対策を行っている。職務分掌の業務内容の周知、学生も参加する避難訓練実施の検討が必要である。
小 項 目	評価	注 釈
【8-1-1】 運営会議を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。	A	毎月、教職員全体会議を実施し、改善に取り組み、進捗管理を行っている。議事内容は議事録を作成し、共有している。
【8-1-2】 教職員全員の職務分掌（業務内容及び責任・権限）を明文化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。	A	職務分掌は教職員に周知され、適切に運用している。
【8-1-3】 防災・防犯対策、非常時対策を明文化、組織化し、避難訓練等を定期的に行っているか。	C	防災・防犯対策、非常時対策は明文化し、組織化はしている。避難訓練は、教職員のみで実施し、避難手順及び誘導方法を共有しているが、今後、学生も参加した避難訓練を実施し、定期的に行う体制を図っていく。

【8-1-4】 個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。	B	個人情報保護規程は教職員に周知し、適切に運用しているが、より運用を徹底できるよう改善を図っていく。
【8-1-5】 ハラスメント防止に関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。	B	ハラスメント防止に関して、学校構成員に周知し、適切に運用しているが、より運用を徹底できるよう改善を図っていく。
【8-1-6】 事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。	A	業務スキル及びモチベーション向上を図るために外部で開催される研修に適宜、参加するよう、指導している。
【8-1-7】 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を適切に行っているか。	A	国から提示されている感染症防止対策ガイドラインに沿って、対策を行っている。
中 項 目	評価	総 括
【8-2】 学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。	B	学校全体の予算管理は適切に行われているが、教職員へ各費目に関する予算管理の認識を徹底させる必要がある。
小 項 目	評価	注 釈
【8-2-1】 年度予算及び中期計画を策定しているか。	C	年度予算は毎年度、適切に策定しているが、中期計画は十分ではないので、策定の改善を図っていく必要がある。
【8-2-2】 予算は計画に従って妥当に執行し、定期的に確認しているか。	C	予算は適切に管理し、課題を抽出している。予算執行や現預金、伝票の確認は上長が厳格に行っているが、教職員へ各費目に関する予算管理の認識を徹底させる必要がある。
【8-2-3】 固定資産を適切に管理・運用しているか。	A	税理士の管理・指導の下、適切に管理・運用している。
【8-2-4】 図書を適切に管理・運用しているか。	A	図書管理担当者が定期的に在庫確認をし、適切に管理・運用している
【学校関係者評価結果】 適 正		
【評価者コメント】 ①新型コロナウイルス感染者をださないためにも拡大防止対策の徹底を継続して行ってください。 ②学生も参加する避難訓練は、是非、実施してください。		

基準 9 改革・改善・情報提供

1. 総 括 自己点検・改善活動は、計画的に組織的に実施されている。また、情報提供についても、適切に行われている。
2. 課 題 自己点検・改善活動・情報提供に関する意義や目的について教職員への周知を行う。
3. 改善策及び改善の方向性 自己点検・改善活動・情報提供に関する意義や目的を教職員会議などの場を通し、周知を図っていく。

中 項 目	評価	総 括
【9-1】 自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のための制度が稼働しているか。	B	自己点検・評価活動は、組織的に行っている。改善活動の意義、目的について、更に全教職員に周知する必要がある。
小 項 目	評価	注 釈
【9-1-1】 自己点検・評価の意義を全教職員に伝え、点検・評価活動の方法や評価基準を共有する機会を設けたか。	B	責任者会議にて、検討を重ね、教職員会議にて、全教職員に伝達し、共有を行った。教職員の理解は深まってきているが、全ての教職員が、更に本質的に理解していく必要がある。
【9-1-2】 自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。	B	自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているが、今後、改善についての記録を整備する必要がある。
【9-1-3】 自己点検・評価報告書は、公開に際して外部に分かりやすい表現にしたり、必要な解説を加えたりしたか。	A	報告責任者の素案をもとに、責任者会議にて検討を行い、分かりやすい表現にした。
中 項 目	評価	総 括
【9-2】 公的な教育機関として、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供しているか。	A	情報提供を積極的に、効果的に行っている。
小 項 目	評価	注 釈
【9-2-1】 法令及びガイドラインに従い積極的に情報提供の取り組みを行なっているか。	B	法令及びガイドラインに従い、情報提供を積極的に推進している。今後は、その目的や意義について、全教職員が理解できるよう周知していく必要がある。
【9-2-2】 提供している情報はガイドラインに示された項目に沿ったものであるか。	A	自己点検した内容をもとに、学校関係者評価委員会が開催され、出された意見は、学校の運営及び改善活動に活かされている。出された意見は、議事録として残している。
【9-2-3】 情報提供は対象者に合わせて情報の内容や提供手段を工夫し、わかりやすく効果的であるか。	A	情報提供は、対象者にわかりやすく工夫している。学校案内パンフレットや募集要項、HP等は、毎年改善を重ねている。
【学校関係者評価結果】 適 正		
【評価者コメント】 ①学校をより良いものにしていくという思いと改善をしようとする事が大事であり、改善活動がこのように組織的に実施されているのは素晴らしい事だと思う。 ②エステティシャン、ビューティーアドバイザー、ネイリスト等、美容師以外の美容職種を育成する数少ない学校として、今後も社会に貢献できる優秀な人材育成を頑張ってもらいたい。		